



東北大学医学部

後援会会報

No. 13
2014.7

発行：東北大学医学部後援会
編集委員会 平成26年7月

新入生を迎えて ～保護者・学生の皆様へ～

東北大学医学部長・医学系研究科長

大内 憲明



新入生並びにご父兄の皆様、改めまして東北大学医学部へのご入学おめでとうございます。

東北大学医学部は、明治5年（1872年）の宮城県立医学所の設立から142周年を迎えました。医学部の同窓会を良陵同窓会（良陵は「東都の東北に聳える学問の丘」から由来、良陵同窓会120年史、p.61）と呼びますが、その記録が残る明治19年（1886）以降の卒業生が今年12,180人に達しました。すなわち、皆さんの諸先輩の数は1万2千名を超える国内外でも最大規模であり、日本の医療を支えるとともに、世界に通用する医学研究を推進し、以て人々の健康・福祉の向上に寄与しているのです。

東北大学医学部の特徴は、第一に実力に裏打ちされた個性溢れる教授陣によるきめ細かい教育が挙げられます。第二に旧七帝大（東京大学、京都大学、東北大学、大阪大学、九州大学、名古屋大学及び北海道大学）の中で、唯一の1県1大学医学部として、教育・研究・診療の全てに責任を持ち、実行していることです。地域医療への貢献は計り

知れず、正に本学の「実学尊重」の精神に法っております。

私どもは医学に対する強い探求心を育み、常に高い目的意識を持ち、問題提起及び解決を成し遂げる事ができる人材育成を目標としています。今後、高度医療技術の開発とその臨床応用が益々重要になり、東北大学医学部はその医学教育・研究の中核としての存在感をさらに高めることになるでしょう。今、柔軟で広い視野と豊かな感性、倫理性を持ち、自由な発想力から既知の壁を越えることができる若者の活躍が求められています。

学生生活は始まったばかりですが、医学科では6年、保健学科では4年、さらに大学院進学を目指す方は長い学園生活を過ごすこととなりますので、学業と共に心身の健康・鍛錬も重要になります。学生諸君には「よく学び、よく遊べ」をモットーに豊かな学生生活を送られ、困難な課題の解決を目指すべく「志（こころざし）」をもって、医学・医療のプロフェッショナルに育ってくれるものと確信しています。

東北大学医学部生を後援会は応援しています。

東北大学医学部後援会会長

東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野

堀内 久徳



東北大学医学部後援会は東北大学医学部医学科・保健学科の学生がよりよい学生生活を送れるように支援することを目的として設立されています。ご父兄の皆様のご支援によって運営されるPTAのような組織です。ご父兄の皆様の継続的なご支援を賜り、東北大学医学部の学生の将来の発展に寄与できればたいへんありがたいと考えております。ご父兄の皆様にはどうぞよろしくお願い申し上げます。また、本後援会は、東北大学病院の業務支援を行っている財団、辛酉会（しんゆうかい）からも支援いただいております。

東北大学医学部後援会は、4月に新入生入学記念祝賀会を

主催しております。多くの新入生およびご父兄の皆様や教員の参加を得て、入学時にすばらしい交流の場を提供させていただいており、たいへん嬉しく存じております。また、医学科および保健学科の卒業生が開催する謝恩会への援助も行っています。後援会は図書館医学分館に学生用のいろいろな教科書をそろえる援助も行っており、多くの学生がよく利用しており、意義のある援助と考えております。

星陵キャンパスでは、生協が入っている学生会館が改築されることになり、既に工事が始まりました。オーディトリウム等も設置されるすばらしい学生会館に生まれ変わるよう

であり、完成が期待されます。医学部後援会では新しい学生会館に何らかの支援を行いたいと考えております。アイデアなどございましたら是非御教示下さいませようお願い致します。教職員も学生も、生協を大変よく利用しておりキャンパスライフと切り離せません。キャンパス内にある生協食堂で多くの教職員や学生が昼食を取り、また購買部で文房具やお菓子、そして医学書・看護学書等を購入します。さて、その生協が現在、学生会館の改築のため営業が大きく制限されています。仙台には生協ほど専門書を取りそろえている書店はなく、学業が円滑に進むよう可及的早期に書籍部を含む仮店舗の営業を開始して頂ければありがたいと祈っております。

他のキャンパスの変化として、「メディカルメガバンク」の大きな研究棟が完成しました。メディカルメガバンクというのは、被災地医療の復興と東北医療の活性化を目指す東北メディカルメガバンク事業のことです。多くの方の遺伝子を解析し、発症してくる疾患との関連を前向きに評価する研究で、大きな期待が寄せられています。

医学科では、毎年夏に東日本医科学生総合体育大会（東医体）が行われます。競技場の確保など運営はすべて学生が行いますが、来年の東医体は東北大学が当番として多くの競技のお世話をしなければなりません。担当の学生さんは忙しく

されていると思いますが、成功裏に導かれるようお祈りしています。

私の研究室では、「寺子屋」と称して学生のための勉強会を月曜日の夕方に開催しています。詳しくは <http://www2.idac.tohoku.ac.jp/dep/mcb/recruit/terakoya/index.html> をご覧下さい。研究者志望の学生さんが多くうれしく思っています。ひとつ、多くの学生が医学・生物学の専門用語を英語で覚えていないことが若干気になっています。基礎医学でも臨床医学でも、研究者としてやっていくには、英文論文を読んで情報を得て、国際学会で発表したり、英文論文を書いて情報発信していくことが避けられません。英語の基礎学力は十分と思いますが、専門用語は学生のうちに覚えておかなければ、一つ一つ辞書を引かなければならず、能率が上がりません。記憶力は年齢とともに低下していきます。医学用語は学生のうちに英語でも覚えて欲しいものと切に願っております。

さて、季節は夏が始まるようとしています。新1年生もキャンパスライフに慣れ、夏休みの計画を建てるのに余念がないのではないかと思います。学生のみなさんにはすばらしい環境のもと、思いきった学生時代をここ仙台でエンジョイしていただければ幸いです。後援会は東北大学医学部生を応援しています。

平成 25 年度医学科 3 年次基礎医学修練発表会について

医学科運営委員会委員長

医学科 3 年次基礎医学修練発表会 実行委員会委員長

笹野 公伸
小河原 輝正

平成 25 年度の基礎医学修練発表会は、平成 26 年 3 月 6 日（木）、7 日（金）の 2 日間行われ、約 5 ヶ月に及んだ基礎医学修練での研究の成果を発表し、討論しました。3 年生と教員の先生方だけでなく 2 年生や 1 年生も来場し、議論も数多くなされ、大変盛況な発表会となりました。



口演発表の様子

今年度も奨学金で海外留学をした学生による英語での発表・質疑応答が行われました。留学したことは、その学生にとってためになったのは言うまでもありませんが、留学しなかった学生もこの発表会により海外留学に興味を持たれたことと思います。さらに、抄録集の作成など学会形式で行ったことや皆で研究内容を共有したことは大変よい経験となりました。

今年度は、昨年度より発表者が増加し、口演が 62 演題、ポスターも 5 演題が発表されました。それによって、1 人あたりの発表時間は短縮されましたが、延長することなく、発表時間内に収め、質の高い発表・議論がなされました。ポスター発表も質が高く、多くの学生が参加し、活発な質

疑応答がなされました。

今年度の基礎医学修練も多くのの方々のご支援・ご協力により無事に終えることができました。特に、医学部後援会のご支援により運営費を確保することができたため、質の高い有意義な発表会にすることができたと感じております。最後になりましたが、改めて多大なご支援に感謝を申し上げます。



基礎医学修練発表会優秀者表彰式



上：口演会場の様子
右：熱心な質疑応答



医学部医学科 卒業謝恩会の報告

平成 25 年度卒業生謝恩会代表

山中 駿

去る、平成 26 年 3 月 26 日（水）に、我々平成 25 年度卒業生は、先生方や職員の方、家族、友人、その他大勢の方々の祝福の中、晴れて東北大学を卒業いたしました。卒業式当日の夜に、江陽グランドホテルで卒業謝恩会を開催させていただきましたのでご報告いたします。

当日は、卒業生 73 名に加え、先生方 55 名にご出席いただき、会場は大いに賑わいました。お忙しい中、ご出席いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

会は、学生代表の藤原翔くんの挨拶に引き続き、大内憲明医学部長からもご挨拶を頂いた後、下瀬川徹病院長に、乾杯のご発声をいただきスタートしました。その後は、各々の学生がお世話になった先生方と思い出話を花を咲かせたり、卒後のことについてアドバイスをいただいたりと、終始、和やかな雰囲気の中での歓談となりました。開始 1 時間が経過した頃に、我々学生からのサプライズ企画として『全員ハイタッチ!』が行われました。楽天イーグルスの応援歌を学生全員で熱唱し、先生方と学生が一人ひとりハイタッチを交わしていくというものでした。時間がない中、準備をしたものですが、全員で笑顔になれたので、先生方にも楽しめていただけたのではないのでしょうか。

時間もあっという間に過ぎ、最後は、里見 進総長

のご挨拶と一本締めで閉会となりました。この謝恩会には、基礎、臨床を問わず 6 年間の授業や実習、研究等でお世話になった大勢の先生方に参加をいただけたため、2 時間という宴会時間でも、どの学生もまだまだ話し足りないように見受けられ、自分たちがいかに多くの先生方に支えられてきたのかを再認識いたしました。知識や技術のみならず、先生方に教えていただいたプロフェッショナルとしての生き方・考え方を大切に、少しでも社会に貢献できる人間となれるようこれからも努力してまいります。

最後になりますが、今回の謝恩会をはじめ、学生生活の様々な場面で厚くご支援を頂いた東北大学医学部後援会様に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



医学部保健学科 謝恩会の報告

平成 25 年度医学部保健学科謝恩会

幹事代表 谷津 亜佑未

去る、平成 26 年 3 月 26 日（水）に、東北大学学位授与式が仙台市体育館で行われ、平成 25 年度医学部保健学科卒業生は、晴れて東北大学を卒業いたしました。

今日まで私たちを見守り、支えて下さったすべての方々に心から感謝をいたします。感謝の意を込めまして、医学部後援会様をはじめ多方面の方々からの御援助をいただい

たことで、保健学科謝恩会を開催することができましたので、ここにご報告いたします。

当日は、夕刻 7 時からホテルメトロポリタン仙台で、3 専攻の卒業生をはじめ、4 年間お世話になった先生方、実習をさせていただいた病院・施設の方々など多くの方々にご出席いただきました。お忙しい中、ご出席いただきました先生方、病院・施設の方々には心からお礼申し上げます。

最初に、保健学科長塩飽 仁先生より東北楽天ゴールデンイーグルスの優勝のお話を含めました御祝辞と乾杯の御挨拶をいただき、謝恩会がスタートしました。卒業生は、これまで講義、実習及び卒業研究等でお世話になった先生方、病院・施設の方々に感謝の気持ちを伝えながら、思い



出話に花を咲かせておりました。

また、昨年同様ビンゴ大会も行われ、会場は大いに盛り上がり、参加された方々には、大変楽しんでいただけたと見受けられました。

最後に、先生方への花束贈呈を行い、改めて感謝の気持ちを伝えられることができたと感じました。

4月からは、社会人としてそれぞれの道を歩んでいきますが、東北大学で培ってきたことを糧に、そして、多くの方々への感謝を胸に、日々努力してまいります。

最後になりましたが、謝恩会をはじめ、厚く御支援いただきました医学部後援会様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

平成26年度医学部新入生オリエンテーションを開催しました

医学部医学科長 笹野 公伸
医学部保健学科長 塩飽 仁

去る4月4日（金）に医学部新入生オリエンテーションを実施いたしました。

★**医学科**では、午前中に大内医学部長、下瀬川大学病院長の挨拶の後、教育課程や学生生活等についての説明を行い、昼食時には、アドバイザー教授と食事を摂りながら懇談しました。新入生を4～5名の小グループに分け、アドバイザー教授の研究室で昼食を摂りながら、和やかな雰囲気です。

午後からは、小児感染症・B型肝炎抗原抗体検査のための採血、川島隆太加齢医学研究所長による講演、医学教育推進センター石井誠一准教授による「世界で競い合うMD研究者育成プログラム」の説明を実施しました。最後に、在校生によるサークル紹介を行い、教員・在校生全体で新入生を迎え入れることができました。

★**保健学科**では、大内医学部長及び塩飽学科長のあいさつの後、午前中は学科全体のオリエンテーションに引き続き、看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻の3専攻に分かれて、専攻オリエンテーションを行いました。

その後、引き続きチューター教員と新入生との昼食懇談会を実施しました。チューター教員とは、今後の学生生活

で勉学のみならず様々な面で相談となる教員です。あいにくの雨模様で始まったオリエンテーションでしたが、昼頃には青空も見られ、昼食をはさんで先生方や同級生と親しく話すことができ、新しい学生生活への第一歩が順調に踏み出せたようです。午後の情報セキュリティ講習会や感染等の抗原抗体検査のための採血と時間が進むうちに、新入生の笑顔も自然に増え、無事オリエンテーションを終了いたしました。

例年、医学部後援会から、昼食代等の必要経費のご援助をいただき、本当にありがとうございます。お陰様をもちまして有意義な新入生オリエンテーションを実施することができました。



後援会主催の入学記念祝賀会を開催いたしました

後援会主催の事業として、平成26年4月に医学部（医学科、保健学科）にご入学された新入生とその保護者の皆様を対象とした「入学記念祝賀会」を、去る、4月3日（木）午後1時から、仙台市青葉区の「江陽グランドホテル」において開催いたしました。

当日は、春間近の仙台、柔らかな暖かい一日に恵まれ、

午前中は東北大学全体の入学式が行われ、午後に会場を移動して500名を超す参加者（保護者：206名、新入生：249名、在学生：10名、医学部関係者など：48名）があり大盛況で実施することができました。

最初に、大内 憲明医学部長の挨拶、堀内 久徳後援会会長



から挨拶、御来賓の辛酉会平 則夫理事長から御祝辞をいただき、続いて、後援会役員の紹介がありました。引き続き、尾股 健副会長による乾杯の発声後、祝賀パーティが賑々しく始まりました。



その後、笹野 公伸医学科長及び塩飽 仁保健学科長から、学科紹介と歓迎のスピーチ、そして、医学科教授及び保健学科教授によるキャリアパス等の企画が行われ大好評で、楽しい歓談・懇親の会を過ぎたようです。

また、ご参加いただきました保護者や新入生などの皆様から、温かな言葉をいただくことができました。さらに、初対面の新入生同志・保護者・大学関係者や在学生との顔合わせにより、交流ができたように思われます。

後援会としては、ご参加された新入生や保護者の方などから好評を得た事業ではないかと思っております。今後とも、会員の皆様の温かい御支援をいただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

医学部後援会・事務室



第 58 回東日本医科学生総合体育大会を主管するにあたって

東北大学医学部運営部長 医学科 3年

中尾 栄実

樹々の緑深くなり、皆様におかれましてはますますご活躍の程お喜び申し上げます。

さて、この度、東北大学医学部は、平成 27 年度に行われます第 58 回東日本医科学生総合体育大会において、主管校の一つを務めさせていただくこととなりました。代表主管校の自治医科大学の下、帝京大学、獨協医科大学とともに、本大会の成功に向けて、現三年生を中心に準備を進めております。

具体的には、平成 26 年 6 月現在、第 56 回主催の会議に 2 回、第 57 回主催の会議に 5 回、第 58 回主催の会議に 1 回出席し、主に、自転車競技の新規参入に関する制度を整え、また、予算案・決算案に関する審議も行っていました。主管競技の割り振りに関しても審議し、私ども東北大学は、全 24 競技中 10 競技（陸上・準硬式野球・テニス・卓球・バドミントン・サッカー・水泳・ボート・スキー・ラグビー）の主管を担当することが決定いたしました。

後援会の皆様には、会議への交通費の一部をご支援いただき、本当にありがたく感じています。おかげさまで、来

年度の実施に向け、他の主管校等と十分に話し合いをしたうえで準備にとりかかることができます。

これからの 1 年余りが正念場になると思いますが、参加者数のべ 16,000 人を超えるこの大きな大会を無事に運営すべく、皆で協力し合って準備を進めてまいります。どうぞ今後とも応援の程よろしくお願ひいたします。



東北大生協からのお知らせ

現在、星陵地区の厚生会館は改修工事に入り、2014年12月に竣工を予定されております。それに伴い、生協の食堂・購買店も通常営業を休止しており、臨時営業の形を取らせていただき、保健学科A棟1階ロビーでパン・弁当の提供を、北門付近と4号館前では、ケータリングカーで



「できたて弁当」の提供を行っております。営業時間は、保健学科ロビーが平日10:00～15:00、ケータリングカーは平日11:30～13:30でございます。(土・日・祝日は閉店しております。)

書籍及び白衣等のご利用や校費ご利用への対応は、従前どおり行っておりますので、外線にお電話をいただくか、FAX、メールでご依頼いただければ、配達などの対応をさせていただきます。

TEL: 275-1093 FAX: 275-8937

E-mail: msb@tohoku.u-coop.or.jp

また、保健学科A棟の東側空き地に、仮店舗の設置を進めているところです。仮店舗は、既存店舗より狭くなりますが、新店舗が出来るまでは、これまでと変わらないサービスのご提供を予定しております。なお、仮店舗完成の日程が分かり次第、東北大生協のホームページ等でお知らせいたします。

組合員をはじめご利用者の皆さまには、大変ご不便をお掛けしております。改修後は更に利用しやすい、利用したいと思っただけの店舗を目指して鋭意準備中です。新店舗の完成を是非ご期待ください。

編集後記

今後、忘れることのできないであろう、東日本大震災から、早いもので3年4か月を経過いたしました。

被災地では、多くの方々が、これまでに経験したことのないような困難に直面し、今なお、それと向き合いながら生活をなされておられます。

医学部後援会は7年目を迎えました。会員の皆様、学生及び教職員の方々に支えられ、順調な活動ができましたことについて感謝を申し上げます。

今春も、夢と希望に溢れた新入生の皆様の入学について、心からお慶び申し上げ、入学後の学生生活に係る支援の一端を担えさせていただければと思っております。

本後援会は、学生への支援・助成活動などに積極的に取り組み、その活動状況については、後援会会報(年2回発行)により会員の皆様にお知らせし、さらに、学生、保護者そして本学部教職員との交流にも努めてまいりますので、御支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

本年度は、186名の保護者の方々に御加入していただき、新入生に対する加入割合は66%となり、昨年度を上回って

おります。

なお、後援会の更なる発展と充実のために、会員の皆様からの御意見をお待ちしておりますので、御寄稿は、郵便又は電子メールでお願い申し上げます。

医学部後援会・事務室



サルスベリ



東北大学医学部後援会事務室

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

TEL: 022-717-7870 E-mail: med-koen@med.tohoku.ac.jp

<http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/>